

「行動バイアス」をのりこえて、健康的に、地球環境問題の解決を目指した 法政大学の掟をリニューアルしました。 法政大学環境センター

法政大学環境センターは、新宿区主催「第14回新宿エコワン・グランプリコンテスト」環境にやさしい事業者部門において、学生・教職員の「行動変容」を目指した取り組みが「環境にやさしい事業者大賞」を受賞しました。2021年度を迎えるにあたって、新たに「快適さ」を意識し、健康的に、地球環境問題の解決を目指した「心構え」を示した「法政大学の掟」をリニューアルしました。地球環境問題は、大学生活における一つ一つの行動の積み重ねが影響をもたらしており、キャンパスの一人一人の協力が大切になります。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策にご協力いただく特別な年となりましたが、今後も多くの方が健康的な生活を送りながら、快適に、環境の取り組みにも参加していただくきっかけとなれば幸いです。

我々人類が暮らす「地球」においては、「なぜ、紙資源の削減に取り組まなければならないのか」、「配布資料の電子化を進めることで、どのような効果が期待されるのか」、「環境マネジメントプログラム実施のポイント」を、えこびよんを始めとした森林で暮らす「動物」が「紙資源削減に向けた法政大学の掟」としてお伝えします。

紙 資源削減に向けた法政大学の掟

「法政大学の掟」においては、「快適さ」を重視し、健康的に、地球環境問題の解決を目指した「心構え」を示しています。

配布資料の電子化、配布部数の適正化

電子媒体化は、市ヶ谷23%（2018年度）⇒51%（2019年度）、多摩5%（2018年度）⇒17%（2019年度）、小金井10%（2018年度）⇒27%（2019年度）に大幅UP！

配布資料の電子化を進めることで、保管環境のセキュリティ強化、情報検索の容易性の向上、保管スペースの節約が期待されます。

裏面活用、両面印刷及び1ページに複数ページを印刷する集約印刷

集約印刷は、設定に慣れると配布資料に便利。

例えば、16枚のA4用紙を2ページに集約印刷すると、8ページに集約印刷でき、1枚に両面印刷してエコ。

印刷機器のプレビュー機能等を活用したミスプリントの防止

コピー機には「用紙」の天地・縦横・表裏に留意して「用紙」を設定するべし。

2021年度環境目標

コピー・リン・OA用紙使用量を2017年度実績値以下とする。

関連するSDGs
法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す」としてSDGs（持続可能な開発目標）について重要課題と関連付けて取り組んでいます。

2021年4月 法政大学環境センター
E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp

法政大学の掟

廃棄物削減を目指して 3R (REDUCE, REUSE, RECYCLE) を徹底するべし

REDUCE (発生抑制)

ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと

物を大切にして、不要な物を買わないようにしている。

いつもエコバッグを持ち歩いている。

簡易包装を愛用

マイ箸、マイボトル、マイカップが基本なの。

REUSE (再利用)

繰り返し使う。

文房具を始めとする消耗品は不要になったら譲りあいながら大切に使用します。

図書館の「リユース・ブック」で書籍を頂きました。

「不用品」の譲りあいも、健康的に、地球環境問題の解決を目指して、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を忘れずに。

RECYCLE (再生使用)

資源として再び利用する

紙製の資料、新聞、雑誌、パンフレット、紙コップ、包装紙、メモ用紙等はミックスペーパー

汚れていたり、濡れていたり、臭い強いものは燃やせるゴミ

飲料用紙パックは、洗った後に内側を乾燥させてミックスペーパー

内側が濡れた状態では燃やせるゴミ

内側がアルミ付の場合は燃やせないゴミ

ラベルは燃やせないゴミ

本体とキャップは専用ゴミ箱に

分別して燃やせるゴミ、弁当箱、カップ麺の容器や割り箸のプラスチック袋は燃やせないゴミ

分別して燃やせるゴミ、弁当箱、カップ麺の容器や割り箸のプラスチック袋は燃やせないゴミ

使用済のマスクは、ビニール袋等に入れて必ず持ち帰ってください。

2021年度環境目標

市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの一般廃棄物排出量について基準値を維持する。

関連するSDGs
法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す」としてSDGs（持続可能な開発目標）について重要課題と関連付けて取り組んでいます。

2021年4月 法政大学環境センター
TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp

法政大学の掟

快適に、健康的な生活を目指した節電キャンパスライフ

その1 上り1階、下り2階は階段利用

トレーニングジムがわりに階段利用

新電力導入UPと節電推進！

その2 退出時は教室・研究室・事務室の照明・空調のスイッチOFF

長時間不在にするときには忘れずに、えこびよんは退出15分前にはOFFでエコ。

その3 影響が少ない機器はプラグを抜き待機電力カット。PC、コピー機は電源オフを省エネモードに設定。

使用頻度が低く、影響が少ない機器は、使用する時だけコンセントにプラグをさすべし。消費電力の多い冷蔵庫は庫内の温度設定を調節してエコ。

オフィスの電子機器、家電等で使用される「コンセント」は全エネルギー消費の約32%

その4 室内温度は冷房時28度、暖房時20度

カーディガンを着用して体温温度約2.2度UP

暖をとる

冬は服装を工夫、体温温度をUPして快適に！

本学は、省エネルギー強化月間の5～10月に「COOL BIZ」、12～3月に「WARM BIZ」を地球温暖化対策として実施します。

健康的に、地球環境問題の解決を目指して、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を忘れずに。

特定温室効果ガス排出量は、2020年4月～2021年2月迄の目標値に対する実績は市ヶ谷は約79%、多摩は約74%、一方、小金井は約112%とかなり厳しい状況です。

新型コロナウイルス感染症をのりこえて、我々が暮らす地球社会においても深刻な脅威となりうる「地球温暖化」と向きあっていることを願っています。

2021年度目標

市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの特定温室効果ガス排出量を基準排出量から27%削減する。

関連するSDGs
法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す」としてSDGs（持続可能な開発目標）について重要課題と関連付けて取り組んでいます。

2021年4月 法政大学環境センター
E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp

新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてマスクを着用している学生・教職員も多く、夏季には「熱中症の防止」などの観点から「環境マネジメントプログラムの運用方法」を「工夫」します。「法政大学の掟」は、教育研究の推進と両立し、エネルギー使用量の削減効果が期待される「待機電力削減のポイント」、「どのような服装、食事を活用すると、どのくらい体温温度が調整されるのか」に関する目安を示し、教育研究・大学生活を充実させながら、快適に、健康的に、地球環境問題の解決を目指します。